

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	01	01	広報活動事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	01	広報活動事業

実施計画整理番号	
601010101	
総合戦略 整理番号	32303

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市民へ市政運営方針や各施策の考え方・内容・効果などの行政情報を提供することで、市としての説明責任を果たし、市民と行政が互いの理解と信頼を深めることを目的とする。	広報もばらについては、分かりやすく親しみやすい紙面づくりを心がけ、新鮮かつタイムリーな情報提供をするため、月2回発行する。より迅速に届けることを目的として、新聞折込及び郵送により配付している。
	令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 市民により興味を持ってもらえるような紙面の作成。 紙媒体以外の発信方法の検討。 	毎月1日・15日の2回、33,500部を発行。発行日当日の朝刊に折り込む。	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	20,912	20,912	20,698	20,896	20,888	20,551	22,510	22,510	21,327	22,598	24,538	21,061	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	60	60	60	60	60	75
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	20,912	20,912	20,698	20,896	20,888	20,551	22,450	22,450	21,267	22,538	24,478	20,986

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	広報もばらの発行	22,598	24,510	21,033	毎月1日・15日の2回、毎号33,500部を発行。今後も市民に必要な情報を掲載するとともに、市民ニーズに応えた情報の発信に努める。
②	広報用備品の購入	0	28	28	広報用備品購入
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
事業費計		22,598	24,538	21,061	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

広報発行については、毎月1日・15日の2回、基本的に1日号16ページ、15日号12ページ。33,500部を発行。年間総ページ数320ページ。新聞折込については、29,840部(令和3年1月1日号)。新聞購読数により変動あり。

DO (実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	601010101
6	01	01	01	広報活動事業	2	01	04	01	広報活動事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	<ul style="list-style-type: none"> ・広報発行回数: 24回 ・広報発行部数: 毎回33,500部 ・年間総ページ数: 320ページ 					<ul style="list-style-type: none"> ・市公式ウェブサイトアクセス件数: 3,016,099件/年(平均251,342件/月) ・マチイロ登録者数: 1,919人 				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である	行政情報を市民に迅速かつ的確に発信することは行政の責務である。	A:有効である	インターネットが活用できない方も依然多く、広報紙などの紙媒体で行政情報を提供することは有効である。		A:効率的である	内容を更に充実させ、市政により興味を持って貰えるような情報を発信するため、ページ数の拡大、カラー印刷を検討する必要がある。			
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している	広報・市公式ウェブサイトでの公表。	A:実現している	団体・グループの会員募集・イベント案内記事の掲載。市民紹介など。		C:実現の余地がない	公表前の内部情報管理等の観点から、そぐわないと考える。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	毎月1日・15日の2回、毎号33,500部を発行。行政情報を迅速かつ的確に発信し、市民の利便性の向上を図るとともに行政運営の理解と市政参加への促進を図った。新聞未購読世帯に対しては、郵送および公共施設への設置、スマートフォンアプリによる配信などにより対応しているが、郵送の件数は年々増加している。(郵送件数 R2年4月1日:1,147件、R3年3月15日:1,319件)									
企画政策課での評価とその理由										
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	計画的な広報の発行及び臨時号の発行は、迅速かつ的確な行政情報の発信に寄与したと認められる。新聞未購読世帯に対する対応の一つでもある、ウェブサイトアクセス件数及びマチイロ登録者数の更なる増加を図るとともに、市民がより興味を持つよう魅力ある紙面の作成により、幅広い市民層に情報が伝わるよう努めるものとする。一方、郵送による発送件数が増加傾向であるため、郵送費抑制について、調査・検討に努めていただきたい。									
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・広報発行回数 ・広報発行部数 ・年間総ページ数 					<ul style="list-style-type: none"> ・市公式ウェブサイトアクセス件数 ・マチイロ登録者数 				
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・市民により興味を持ってもらえるような紙面の作成。 ・紙媒体以外の発信方法の検討。 					<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1日・15日の2回、33,500部を発行。発行日当日の朝刊に折り込む。 ・オールカラーの広報紙を2回発行(8月15日号、1月1日号) 					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	01	01	ウェブサイト運営事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	03	ウェブサイト運営事業

実施計画整理番号	
601010102	
総合戦略整理番号	32303

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 市の情報を必要としている方に、ウェブサイトによる行政情報の提供を行うことで、市のPRを図り、多くの方に関心をもってもらう。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 各所属にウェブサイト制作委員を設け、それぞれの所属における業務案内や情報発信を依頼することで、広報紙ではできないタイムリーな情報を発信する。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
ウェブサイト制作研修会を開催する。初級者向けに加え中級者向け研修を行い、さらなる情報発信力の向上に努める。	ウェブサイトにより、随時、最新の情報を迅速に提供していく。また、SNSなど新しい情報発信手段を利用し、発信力の強化に努める。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	2,052	2,052	2,052	2,052	2,052	2,048	2,281	2,281	2,281	2,106	2,106	2,105	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	1,440	1,440	1,660	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	1,200	1,440	1,440	1,930
	一般財源	千円	612	612	392	612	612	608	841	841	1,081	666	666	175

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	ウェブサイトの運営管理	2,106	2,106	2,105	アクセス数3,016,099件/年(平均251,342件/月)
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,106	2,106	2,105	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

ウェブサイトによる行政情報の発信を行い、市民サービスの向上を図った。アクセス数3,016,099件/年(平均251,342件/月)【令和元年度2,924,567件/年(平均243,714件/月)】

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	01	01	ウェブサイト運営事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	03	ウェブサイト運営事業

整理番号
601010102

令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況 ・ウェブサイト公開ページ数: 3,340ページ ・更新頻度: 1,118ページ/年(平均93ページ/月)	令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況 ウェブサイトアクセス数 3,016,099件/年(平均251,342件/月)	
妥当性の評価とその理由 A: 妥当である 行政情報を市民に迅速かつ的確に発信することは行政の責務である。	有効性の評価とその理由 A: 有効である 最新の情報を迅速に提供することができた。SNSとの連携強化を図るため、システムのバージョンアップが必要である。	効率性の評価とその理由 A: 効率的である 最新の情報を迅速に提供することができた。SNSとの連携強化を図るため、システムのバージョンアップが必要である。
「情報の共有」の状況とその理由 A: 実現している 広報・市公式ウェブサイトでの公表。	「参加」の状況とその理由 A: 実現している お問い合わせフォームの設置。	「協働」の状況とその理由 C: 実現の余地がない システム管理が主体であり、そぐわないと考える。
所管による評価とその理由、課題・問題点 A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上) ウェブサイトでの情報発信に加え、Facebookなどの情報発信手段を利用し発信力の強化に努めた。更なるSNSとの連携強化を図るため、システムのバージョンアップが必要である。また、インターネット等情報端末を活用できない方もいるので、広報などできめ細かく情報提供を行う必要がある。		
企画政策課での評価とその理由 A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上) ウェブサイト公開ページ数及び更新頻度の増加は、ウェブサイトアクセス件数の増加に寄与し、情報発信力の向上が図られていると認められるものである。引き続き、様々な情報発信手段のを利用し、幅広い市民層に情報が行き届くよう積極的な情報発信力の強化に努めるものとする。		
政策調整会議での評価とその理由 <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div>		
庁議における方針 <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div>		

令和3年度活動指標(アウトプット)の設定 ・ウェブサイト公開ページ数 ・更新頻度	令和3年度成果指標(アウトカム)の設定 ウェブサイトアクセス数
令和3年度における具体的な目標 ・ウェブサイト制作研修会を適宜開催する。 ・増加するアクセス数やデバイスの多様化等に対応するため、ウェブサイトのリニューアルを行い、さらなる情報発信力の向上に努める。	令和3年度における事務事業スケジュール ・ウェブサイトにより、随時、最新の情報を迅速に提供していく。 ・ウェブサイトのリニューアルを行う。 ・リニューアルに伴い、制作委員をを対象とした研修会を開催する。

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	02	01	広聴活動事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	02	広聴活動事業

実施計画整理番号	
601020101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 市民から幅広く意見・提言を聴取し、市政に反映させることを目的とする。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 「市長と話し合う会」、「市民ふれあいミーティング」、「公共施設見学会」の開催。「市長への手紙」の運用。
令和2年度の具体的な目標 ・新型コロナウイルス感染症対策に対応した市長と話し合う会の開催方法を検討し、参加者の安全の確保を図るとともに、会議の活性化を図る。	令和2年度スケジュール ・「市長への手紙」:各公共施設に備え付けの用紙、市公式ウェブサイト、電子メールから随時受付。 ・「市長と話し合う会」:11月22日(日)、市役所市民室で開催(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ・「市民ふれあいミーティング」:随時受付

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	94	94	62	94	94	52	80	80	11	80	84	11
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	94	94	62	94	94	52	80	80	11	80	84

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市長と話し合う会の開催	69	73	0	市長と話し合う会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により開催中止
②	市長への手紙の活用	11	11	11	216件(内電子メール126件) 今後も幅広く意見・提言を聴取していく
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		80	84	11	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・「市長への手紙」:全216件(うち電子メール126件)。回答数は105件。
- ・「市長と話し合う会」:新型コロナウイルス感染症の拡大により開催中止
- ・「市民ふれあいミーティング」:新型コロナウイルス感染症の拡大の影響等により申し込みが無かったため、開催していない。

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	601020101
6	01	02	01	広聴活動事業	2	01	04	02	広聴活動事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況						
	・「市長への手紙」: 用紙設置枚数300枚 ・「市長と話し合う会」: 開催中止 ・「市民ふれあいミーティング」: 申し込みが無く、開催せず					・「市長への手紙」: 意見・提言等216件、回答数126件 ・「市長と話し合う会」: 開催中止 ・「市民ふれあいミーティング」: 申し込みが無く、開催せず						
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由					
	A: 妥当である	市民から幅広く意見・提言を聴取し、市政に反映させる必要がある。			A: 有効である	さまざまな方法で市民からの意見・提言を聴取する機会を設けた。			A: 効率的である	将来的にもコストの増加・増大の要因はなく、継続することができる。		
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由					
	A: 実現している	広報・市公式ウェブサイトでの公表。			A: 実現している	市長への手紙の運用。市民ふれあいミーティング、市長と話し合う会は開催中止。			A: 実現している	市長と話し合う会を茂原市自治会長連合会と共催で行っている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点											
A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	「市長への手紙」の運用により、市民から意見・提言を聴取する機会を設け、市政に反映することができた。 「市長と話し合う会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大により開催中止。 「市民ふれあいミーティング」は申し込みが無く、開催せず。											
企画政策課での評価とその理由												
B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	幅広く意見・提言を聴取する機会を設けており、一定の成果を挙げていると認められる。コロナ禍ではあるが、引き続き、意見を聴取する機会・方法の検討を行うとともに、開催方法の研究を行い、より市民の意見等を市政に反映させるよう努めるものとする。											
政策調整会議での評価とその理由												
庁議における方針												

A C T (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	・「市長への手紙」: 用紙設置枚数 ・「市長と話し合う会」: 開催回数					市政への意見及び提言数				
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール					
・新型コロナウイルス感染症対策に対応した市長と話し合う会の開催方法を検討し、参加者の安全の確保を図るとともに、会議の活性化を図る。 ・市長への手紙事務取扱要綱の作成					・「市長への手紙」: 各公共施設に備え付けの用紙、市公式ウェブサイト、電子メールから随時受付。事務取扱要綱の作成 ・「市長と話し合う会」: 市役所市民室で開催 ・「市民ふれあいミーティング」: 随時受付					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	02	02	市民相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	15	01	市民相談事業

実施計画整理番号	
601020201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
多種・多様化する市民の相談等に迅速かつ適切に対処できるよう努め、関係部署・機関との連携により相談業務の充実を図る。	市民相談・無料法律相談・人権相談・行政相談・交通事故相談を実施する。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
市民が持つ悩みや心配ごとなどを、各種相談に気軽に相談いただく。	平日執務時間内 毎月第2木・第4火曜日 毎月第2火・第4木曜日 5～3月第4金曜日

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	1,160	1,160	1,144	1,160	1,151	1,132	1,180	1,180	1,156	1,167	1,179	1,132
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,160	1,160	1,144	1,160	1,151	1,132	1,180	1,180	1,156	1,167	1,179

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市民相談	7	20	20	市民相談員が市民の日常生活での悩みごとや心配ごとに対し、聞き取りを行い、解決に向けた助言を行った。今後も継続する。
②	無料法律相談	795	795	794	弁護士相談により適切に対応ができた。多様化する相談における専門的の回答に定めるため、今後も継続が必要である。
③	人権相談	263	261	257	人権擁護委員が専門的の見地から解決に向けた方向性を見出している。住民に更なる周知を図り、今後も継続する。
④	行政相談	61	62	60	行政相談委員が専門的の見地から解決に向けた方向性を見出している。住民に更なる周知を図り、今後も継続する。
⑤	交通事故相談	1	1	1	市民に専門的な相談を受ける機会を与えられ、今後も県へ継続を要望する。
⑥	婚活イベントの開催	40	40	0	コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントは開催できなかったが、市民活動団体と連携し、支援した。今後はイベントを開催しないで、支援していく。
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		1,167	1,179	1,132	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・無料法律相談は、日常生活にわたる法律問題について、弁護士が対応(月2回予約制)
- ・人権相談は、いじめや差別、いやがらせなどの人権に関する問題について人権擁護委員が対応(月2回予定していたが、緊急事態宣言発令に伴い、中止した事もあった。)
- ・行政相談は、官公庁が行う業務の苦情、要望、問い合わせなどについて、行政相談委員が対応(月2回予定していたが、緊急事態宣言発令に伴い、中止したこともあった。)
- ・交通事故相談は、損害賠償の仕方や算定額などについて、県交通事故相談所の専門の相談員が対応(年11回)
- ・出会いの広場は、コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	02	02	市民相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	15	01	市民相談事業

整理番号
601020201

令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民相談・結婚相談 平日執務時間内 ・無料法律相談 24日 ・人権・行政相談 14日 ・交通事故相談 10日 	R2相談受付件数 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 479件 ・人権相談 1件 ・交通事故相談 21件 </td> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・行政相談 1件 ・法律相談 158件 ・結婚相談 7件 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 479件 ・人権相談 1件 ・交通事故相談 21件 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政相談 1件 ・法律相談 158件 ・結婚相談 7件
<ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 479件 ・人権相談 1件 ・交通事故相談 21件 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政相談 1件 ・法律相談 158件 ・結婚相談 7件 		
妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由	
A:妥当である 市が実施することで、市民は安心して相談できる。	A:有効である 適切な助言を行い、問題解決につなげている。	A:効率的である 各種相談業務は、専門的な相談員が配備されている。	
「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由	
A:実現している 広報、市公式ウェブサイト等で、相談業務を紹介している。	A:実現している 市民ニーズを把握しながら、実施している。	C:実現の余地がない 相談業務であり、専門員を活用している。	
所管による評価とその理由、課題・問題点			
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 多種多様化する市民の相談に専門員や弁護士を活用し、細やかで的確な相談事業を実施しており、相談者からも高い評価を得ている。今後も、多種多様な市民相談に対応するため、窓口の充実に努める。			
企画政策課での評価とその理由			
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 市民の身近な法律相談として高い評価を得ている。今後も、市民の不安を払しょくできる相談体制作りを充実させたい。			
政策調整会議での評価とその理由			
/			
庁議における方針			
/			

令和3年度活動指標(アウトプット)の設定	令和3年度成果指標(アウトカム)の設定		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民相談・結婚相談 平日執務時間内 ・無料法律相談 24日 ・人権・行政相談 22日 ・交通事故相談 11日 ・相談業務周知回数 12回 	相談受付件数 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 400件 ・人権相談 2件 ・交通事故相談 10件 </td> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・行政相談 2件 ・法律相談 170件 ・結婚相談 5件 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 400件 ・人権相談 2件 ・交通事故相談 10件 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政相談 2件 ・法律相談 170件 ・結婚相談 5件
<ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 400件 ・人権相談 2件 ・交通事故相談 10件 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政相談 2件 ・法律相談 170件 ・結婚相談 5件 		
令和3年度における具体的な目標	令和3年度における事務事業スケジュール		
市民が持つ悩みや心配ごとなどを、各種相談に気軽に相談いただく。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民相談・結婚相談 平日執務時間内 ・無料法律相談 毎月第2木・第4火曜日 ・人権・行政相談 毎月第2火・第4木曜日 ・交通事故相談 5～3月第4金曜日 		

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	02	01	02	情報化推進事業(安全安心地図情報システム)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	01	03	情報化推進事業

実施計画整理番号	
602010201	
総合戦略整理番号	12202

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 担当課ごとに整備されている地図情報を一元管理することで庁内における有効利用を促進する。 市が保有する地図情報を住民に公開することで、平時及び災害時に安心安全に関する地図情報の共有を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 既存の地図情報システムを一元化し、紙で管理している地図情報の電子化に積極的に取り組む。 また、公開できる地図情報を増やし、双方向のやり取りが可能なシステムを導入する。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
複数の業務部門との情報共有により業務の効率化を図る	操作研修会の実施 モバりんレポート及びびわが街ガイドのPR

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	3,987	3,987	3,985	3,987	4,461	4,461	4,245	4,245	4,243	4,323	4,345	4,345
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,987	3,987	3,985	3,987	4,461	4,461	4,245	4,245	4,243	4,323	4,345

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	地図情報システムを活用した効果的な情報発信	4,323	4,345	4,345	効果的な利活用がされている。 今後も改善しながら継続していく。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		4,323	4,345	4,345	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

地図情報の更新(通年)

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	02	01	02	情報化推進事業(安全安心地図情報システム)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	01	03	情報化推進事業

整理番号
602010201

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	広報やコミュニティビジョンを使ってモバリんレポートを周知するとともに、新規投稿項目を追加した。 地図利用については、通常業務だけでなく、災対本部での活用も進めた。		モバリんレポートでの投稿数は伸びていないものの、一定の投稿数と、それによる路面環境などの改善に繋がっている。 ・モバリんレポートの投稿数 23件 ・わが街ガイドの新規レイヤの更新数 101件			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 地図情報を庁内で共有でき ており、市民向けにもわが街 ガイドを公開している。		A:有効である 地図情報の庁内共有と、市 保有情報の公開、モバリん レポートによる課題解決に 有効である。		A:効率的である 地図情報一元化による費 用削減効果はでている。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している 市公式ウェブサイト、広報等 で公表している。		A:実現してい る モバリんレポート自体が市 民がいつでもどこでも投稿で きる仕組みとなっている。		A:実現している 道路状況や不法投棄など、 市民と共に改善していく仕 組みとなっている。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度 の 成果を挙げた (達成度4割~7 割)		地図情報共有やレイヤー作成など、庁内では有効利用されている。今後さらに、市民への周知と協働での課題解決とい う部分に注力していく必要がある。			
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度 の 成果を挙げた (達成度4割~7 割)		庁内横断的な利用、災害時での利活用及び道路陥没投稿など、一定の成果を上げている。今後も、モバリんレポートな ど市民への周知を十分に行い、協働での課題解決に尽力されたい。			
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

A C T (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定	
	広報、コミュニティビジョンでのわが街ガイドやモバリんレポートの 周知回数 わが街ガイドの情報更新の回数		モバリんレポートの投稿数 わが街ガイドのレイヤの更新数	
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール		
市民向け周知に広報掲載、コミュニティビジョンでの放映 庁内向けに研修動画の公開 各課で保持しているレイヤーの棚卸と情報共有		4月 コミュニティビジョンでの周知依頼 10月 広報にてモバリんレポート周知 通年 わが街ガイドの情報更新		

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	02	01	02	コンビニ交付サービス事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	03	01	02	コンビニ交付サービス導入事業

実施計画整理番号	
602010202	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) マイナンバーカードを利用して、住民票、印鑑登録証明書、所得課税証明書を全国のコンビニエンスストア等で取得できる「コンビニ交付サービス事業」を令和元年7月に開始する。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) コンビニ交付サービスの導入準備及び実施。
令和2年度の具体的な目標 ・コンビニ交付サービスの安定的な提供と、質の向上を図る。	令和2年度スケジュール ・キオスク端末更改に伴い必要な試験を実施 ・マイナンバーカード取得推進

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	3,456	0	4,122	7,578	7,407	5,380	5,460	5,420
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	3,456	0	4,122	7,578	7,407	5,380	5,460

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	システム保守管理	2,376	2,376	2,376	証明書のコンビニ交付サービスにおいて不可欠であり、今後も継続する。
②	J-LIS負担金	2,750	2,728	2,728	証明書のコンビニ交付サービスにおいて不可欠であり、今後も継続する。
③	コンビニ手数料	254	344	313	証明書のコンビニ交付サービスにおいて不可欠であり、今後も継続する。
④	運用試験時旅費	0	8	0	証明書のコンビニ交付サービスにおいて不可欠であり、今後も継続する。
⑤	実店舗証明書手数料	0	4	3	証明書のコンビニ交付サービスにおいて不可欠であり、今後も継続する。
⑥	コンビニ交付サービスの普及	0	0	0	マイナンバーカードの取得促進とあわせ、今後も継続する。
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		5,380	5,460	5,420	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・キオスク端末更改に伴い必要な試験を実施
- ・コンビニ交付サービスの周知
- ・マイナンバーカードの取得推進

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	02	01	02	コンビニ交付サービス事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	03	01	02	コンビニ交付サービス導入事業

整理番号
602010202

令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの交付率 25.54% ・広報、市公式ウェブサイト等による、マイナンバーカード及び交付サービスについての周知件数 新規取得者9332人に周知 	<ul style="list-style-type: none"> 証明書等のコンビニ交付の発行件数及び利用率 ・住民票 1445件(4.2%) ・印鑑登録証明書 1135件(4.6%) ・市県民税所得課税証明書 95件(1.2%) 						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">妥当性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">有効性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">効率性の評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> A:妥当である 人口減少、少子高齢化社会に対応した民間活用や、ICTを利用した人に頼らない仕組みづくりが必要とされている。 </td> <td> A:有効である 全国のコンビニエンスストアで夜間、休日でも証明書を交付することができるようになり、住民サービスの向上を図れた。 </td> <td> A:効率的である 証明書交付のために来庁する必要がなく、窓口混雑の緩和に寄与したと考えられる。 </td> </tr> </tbody> </table>		妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由	A:妥当である 人口減少、少子高齢化社会に対応した民間活用や、ICTを利用した人に頼らない仕組みづくりが必要とされている。	A:有効である 全国のコンビニエンスストアで夜間、休日でも証明書を交付することができるようになり、住民サービスの向上を図れた。	A:効率的である 証明書交付のために来庁する必要がなく、窓口混雑の緩和に寄与したと考えられる。
妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由					
A:妥当である 人口減少、少子高齢化社会に対応した民間活用や、ICTを利用した人に頼らない仕組みづくりが必要とされている。	A:有効である 全国のコンビニエンスストアで夜間、休日でも証明書を交付することができるようになり、住民サービスの向上を図れた。	A:効率的である 証明書交付のために来庁する必要がなく、窓口混雑の緩和に寄与したと考えられる。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「参加」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> A:実現している 市公式ウェブサイトでの周知やマイナンバーカード交付時の案内、チラシの配布を実施した。 </td> <td> C:実現の余地がない 市民等の参加事業ではない。 </td> <td> C:実現の余地がない 市民等の協働事業ではない。 </td> </tr> </tbody> </table>		「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由	A:実現している 市公式ウェブサイトでの周知やマイナンバーカード交付時の案内、チラシの配布を実施した。	C:実現の余地がない 市民等の参加事業ではない。	C:実現の余地がない 市民等の協働事業ではない。
「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由					
A:実現している 市公式ウェブサイトでの周知やマイナンバーカード交付時の案内、チラシの配布を実施した。	C:実現の余地がない 市民等の参加事業ではない。	C:実現の余地がない 市民等の協働事業ではない。					
所管による評価とその理由、課題・問題点							
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	コンビニでの証明書取得を増やすため、コンビニ交付サービスの周知と、コンビニ交付に必要なマイナンバーカードの取得促進を図る。						
企画政策課での評価とその理由							
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	マイナンバーカードを活用したコンビニ交付事業は、カード取得者を増やす呼び水の一つである。コンビニ交付事業を周知することで、市民が実感できる利便性を高めていただきたい。						
政策調整会議での評価とその理由							
庁議における方針							

令和3年度活動指標(アウトプット)の設定	令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの交付率 ・広報、ウェブサイト等による、マイナンバーカード及びコンビニ交付サービスについての周知件数 	証明書等のコンビニ交付の発行件数及び利用率				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">令和3年度における具体的な目標</th> <th style="width: 50%;">令和3年度における事務事業スケジュール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ交付サービスの安定的な提供と、質の向上を図る。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・キオスク端末更改に伴い必要な試験を実施 ・コンビニ交付サービスの周知 ・マイナンバーカードの取得推進 </td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度における具体的な目標	令和3年度における事務事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ交付サービスの安定的な提供と、質の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キオスク端末更改に伴い必要な試験を実施 ・コンビニ交付サービスの周知 ・マイナンバーカードの取得推進
令和3年度における具体的な目標	令和3年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ交付サービスの安定的な提供と、質の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キオスク端末更改に伴い必要な試験を実施 ・コンビニ交付サービスの周知 ・マイナンバーカードの取得推進 				

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	03	01	01	コミュニティ活動支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	03	コミュニティ活動支援事業

実施計画整理番号	
603010101	
総合戦略 整理番号	22201

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
「魅力あるまち」「住んでいたいまち」を形成するために重要な役割を果たす自治会等の地域コミュニティにおいて、活動が活発に行われ、地域に住む市民が積極的に参加するようにする。	コミュニティ活動の育成や地域コミュニティ施設の整備充実を図るための各種支援策を講じる。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 自治会長連合会学習会 3回 自治会長連合会視察研修 4回 自治会長連合会講演会 1回 集会所の整備件数 5件 	<ul style="list-style-type: none"> 7月 長生都市連合自治会連絡会負担金 7月 茂原市自治会長連合会活動費補助金交付 9月 自治会長委託料交付 随時 集会所整備補助金交付

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	15,313	17,813	17,355	15,171	18,301	18,017	17,440	17,440	17,375	17,103	19,360	18,817
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,442	1,230
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,310	1,300
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	2,500	0	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,000	2,000
	一般財源	千円	15,313	17,813	14,855	15,171	15,801	15,517	14,940	14,940	14,875	14,603	14,608

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	コミュニティ団体の活動支援	14,163	14,136	13,843	補助金の交付等、様々な支援に努め、コロナ禍であったが、活動を促進することができた。今後も継続する。
②	コミュニティ備品の整備	40	1,482	1,254	地方創生臨時交付金を活用して、新しい生活様式に沿った活動に利用出来るよう整備した。今後も適正な維持管理に努める。
③	集会所の整備	400	1,742	1,720	千葉県地域コミュニティ施設等再建支援事業補助金を活用し、被害を受けた16集会所の修繕に対し補助金を交付した。今後も整備促進に努める。
④	コミュニティ助成	2,500	2,000	2,000	自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、1自治会において備品が整備された。今後も各自治会へ周知を図る。
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		17,103	19,360	18,817	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・団体への補助等(茂原市自治会長連合会への活動費補助金交付、長生都市連合自治会連絡会への負担金)
- ・文書配布等の事務委託(自治会長委託料の交付)
- ・コミュニティ備品の整備(【修繕】テント、赤ちゃんテント 【購入】地方創生臨時交付金を活用:非接触型体温計、アクリルパーティション、プロジェクター、サウンドシステム、ワイヤレスアンプ、ノートパソコン)
- ・集会所整備補助(集会所修繕整備事業補助金7件・地域コミュニティ施設等再建事業補助金16件)

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	603010101
6	03	01	01	コミュニティ活動支援事業	2	01	13	03	コミュニティ活動支援事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況				令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	補助金の交付額 5,258,530円 補助金の交付件数 25件 (うち自治会長連合会補助金1,538,530円(1件)、コミュニティ助成事業補助金2,000,000円(1件)、集会所整備補助金420,000円(7件)、地域コミュニティ施設等再建支援事業補助金1,300,000円(16件))				・コミュニティ活動の促進(参加者数) 自治会長連合会定期総会書面表決 214名書面表決書提出 ・コミュニティ備品の数、利用状況 24種類・延べ1250点 ・延べ貸出団体数 354団体 ・集会所の整備件数(修繕)延べ23件			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である コミュニティ活動の充実については、市が関与すべき事業であり、妥当性はある。		A:有効である コミュニティ活動の促進と拠点整備等の支援に努めることで、より良いまちづくりという成果が得られることが期待できる。		A:効率的である 事務事業の執行は効率的に実施しており、継続して支援していく必要がある。			
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している 自治会長連合会役員や各単位自治会長と情報を共有しながら、施策を推進している。		A:実現している 自治会長連合会役員や各単位自治会長の参加を得ながら、施策を推進している。		A:実現している 自治会長連合会役員や各単位自治会長と目的を共有し、適切に役割を分担している。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		人々が地域の中で生活を営む上で、日常生活をより豊かで快適に安心して暮らしていくためには、コミュニティ活動の充実には欠かせないものであることから、自治会長連合会と連携しながら各種支援等を行い、活性化を図った。自治会の加入率低下のみならず、新しい生活様式に沿ったコミュニティ活動の難しさが課題であるが、今後も継続してコミュニティの重要性の周知を図るとともに、各自治会に寄り添い支援していく必要がある。						
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		地域コミュニティの核となる、自治会活動を支える事業として重要な役割を担っている。今後も、途切れることの無いよう自治会活動を支えられたい。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定				令和3年度成果指標(アウトカム)の設定			
	・コミュニティ活動支援件数 自治会長連合会学習会・講演会の回数 ・コミュニティ活動支援補助金額 自治会長連合会活動費補助金・集会所整備補助金・コミュニティ助成事業補助金				・コミュニティ活動参加者総数 自治会長連合会定期総会・学習会・講演会の参加者			
令和3年度における具体的な目標				令和3年度における事務事業スケジュール				
・自治会長連合会学習会 3回 ・自治会長連合会講演会 1回 ・集会所の整備件数 2件				6月 茂原市自治会長連合会活動費補助金交付 7月 長生郡市連合自治会連絡会負担金 9月 自治会長委託料交付 随時 集会所整備補助金交付				

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	04	01	01	男女共同参画社会づくり推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	03	男女共同参画社会づくり推進事業

実施計画整理番号	
604010101	
総合戦略整理番号	0

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
	男女がお互いを尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分発揮することができる男女共同参画社会づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画をテーマとした講演会やフォーラム等を行い、市民意識の醸成を図る 適正な事業執行のため、推進協議会による事業評価を実施する 社会情勢に合った第4次計画とするため、推進協議会により策定協議を行う
	令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール

・ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会を開催し、100名以上の参加を目指す。また、男女共同参画に関する市の取り組みを市民に情報提供し、理解を深める。
 ・あらゆる分野における男女共同参画を積極的に推進するため、計画事業評価及び第3次計画事業の推進に努める。
 ・社会情勢に合った男女共同参画計画(第4次)を策定する。

・市と市民との協働により、ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会を企画・実施し、男女共同参画に関する正しい理解と啓発に努める。
 ・男女共同参画社会づくり推進委員会(庁内)及び男女共同参画社会づくり推進協議会(第三者)で事業評価を実施する。
 ・令和3年度から7年度までを計画期間とする男女共同参画計画(第4次)を策定する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	128	128	128	128	232	168	163	163	163	691	691	524
財 源 内 訳	国補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	128	128	128	128	232	168	163	163	163	691	691

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	男女共同参画計画の策定協議	220	219	138	男女共同参画計画(第4次)を策定。計画の推進を図るため、事業について評価を実施し、提言書を市に提出する。
②	茂原市ハートフルフェスタの開催	103	88	3	新型コロナウイルス感染症拡大により実施できず。今後は感染対策を徹底し可能な限り実施する。
③	茂原市男女共同参画計画(第4次)策定	368	384	383	計画の推進を図るため、推進委員会(庁内)及び推進協議会(第三者)により事業について評価を実施し、提言書を市に提出する。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		691	691	524	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を簡条書きで具体的に記入)

・茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会、茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会と連携し、計画期間を令和3年度から令和7年度の5年間とする、第4次計画を策定した。
 ・計画(第3次)の推進については、推進協議会により22事業について外部評価を行い、事業評価報告書としてまとめ、市長に提出、また担当課に結果を報告した。

D
O
(
実
施
)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	604010101
6	04	01	01	男女共同参画社会づくり推進事業	2	01	09	03	男女共同参画社会づくり推進事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況					
	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会実施回数: 0回 ・情報提供の回数: 17回 ・男女共同参画計画の事業評価の実施: 4回 					<ul style="list-style-type: none"> ・講演会等参加延べ人数: 0名 ・男女共同参画計画において事業評価Aの割合: 重点評価22事業のうち6事業 					
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由					
	A: 妥当である	男女共同参画は若年層を中心に進んでいるが、社会全体としては不十分なところがある。更なる推進に向けて市が率先して取り組む必要がある。			B: やや有効である	コロナにより講演会が全て中止になってしまったが、一定の理解は深まっている。取り組みが遅れている分野については、より幅広い周知が必要である。			C: あまり効率的ではない	男女共同参画の推進には意識改革が必要であり、すぐに結果が出るものではなく、根気強く取り組む必要がある。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由					
	B: 実現に向けて取り組んでいる	市公式ウェブサイト、自治会回覧、広報誌等で情報提供している。			A: 実現している	コロナにより講演会が全て中止となってしまったが、講演会主催について市民意見を反映できるよう市民ボランティアが参加。事業評価に協力する協議会の委員には、市民が参加している。			A: 実現している	講演会実施にあたっては市民が企画・運営を担当。計画の事業評価にあたり、協議会の意見を取り入れ、より市民目線の評価及び提言に努めた。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点										
B: ある程度の成果を挙げた (達成度4割~7割)	新型コロナウイルス感染症拡大により全ての講演会等が中止となったが、広報紙等により、市民の男女共同参画に対する意識醸成を図った。今後は新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、講演会開催に向けて対応策を考えていくとともに、あらゆる分野における男女共同参画の正しい理解と啓発のため、市と市民及び関係団体と連携・協力し、啓発・推進に努める。										
企画政策課での評価とその理由											
B: ある程度の成果を挙げた (達成度4割~7割)	広報紙等により、男女共同参画に対する意識醸成を図っていることは評価する。一方、日本のジェンダーギャップ指数は世界で下位(120位)にあることを踏まえ、市として具体的な取組を検討する必要がある。										
政策調整会議での評価とその理由											
庁議における方針											

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会実施回数 1回以上 ・情報提供の回数 年1回以上 ・男女共同参画計画の事業評価の実施 					<ul style="list-style-type: none"> ・講演会等参加延べ人数 ・男女共同参画計画において事業評価Aの割合 				
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会を企画・実施する。 ・男女共同参画に関する市の取組を市民に情報提供し、理解を深める。 ・あらゆる分野における男女共同参画を積極的に推進するため、計画事業評価及び第4次計画事業の推進に努める。 					<ul style="list-style-type: none"> ・ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会へ100名以上の参加を目指す。 ・市と市民との協働により、男女共同参画に関する正しい理解と啓発に努める。 ・男女共同参画社会づくり推進委員会(庁内)及び男女共同参画社会づくり推進協議会(第三者)で事業評価を実施する。 					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	02	02	次期茂原市総合計画策定事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
				次期茂原市総合計画策定事業

実施計画整理番号	
605020201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
H22年度に策定した茂原市総合計画後期基本計画の満了をH32年度末に迎える。H23年8月の地方自治法改正により、基本構想策定の義務付けがなくなったものの、茂原市まちづくり基本条例により、基本構想、基本計画及び実施計画を策定する必要がある。	本市が目指す理念に基づくあるべき将来像とそれを実現するための目標を明らかにし、計画的に施策を推進するため、茂原市総合計画を策定する。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
令和2年度中に新たな総合計画を策定するため、コンサルタントと連携しながら、 ・基本構想を踏まえたうえで、各会議で内容について意見交換、審議を諮り、総合戦略と合わせて基本計画を策定する。 ・パブリックコメントを行うことで広く意見を募る。	令和2年度の2年間に新たな総合計画を策定するため、 ・総合計画策定会議・幹事会、総合計画審議会の運営。 ・パブリックコメントの実施。 ・議案の上程。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	0	0	8,047	7,126	6,561	8,945	8,701	8,275
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	8,047	7,126	6,561	8,945	8,701

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	次期茂原市総合計画策定支援業務	8,945	8,701	8,275	当初の予定どおり令和3年3月に総合計画を策定、今後の進行管理に努める。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		8,945	8,701	8,275	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・茂原市総合計画審議会を令和2年6月23日、7月22日、8月25日、9月29日、10月30日に5回開催。
- ・令和2年11月27日～12月28日にパブリックコメントを実施し、7人から71件の意見があった。
- ・令和3年3月に茂原市総合計画を策定済。

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605020201
6	05	02	02	次期茂原市総合計画策定事業					次期茂原市総合計画策定事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況						
	・令和3年3月に茂原市総合計画を策定済。					・令和3年3月に茂原市総合計画を策定済。						
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由					
	A:妥当である	茂原市まちづくり条例第25条に総合計画の策定が謳われている。			A:有効である	総合計画は市の全ての計画の上位に位置する計画であり、市のまちづくりの方針を示すものである。			A:効率的である	コンサルタントに策定支援業務を委託している。		
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由					
	A:実現している	市公式ウェブサイトへ、茂原市総合計画審議会の会議資料及び会議録、策定した総合計画を掲載している。			A:実現している	審議会には公募による市民に参加頂いている。また、パブリックコメントを実施した。			A:実現している	審議会には学識者や関係機関の職員、公募による市民に参加頂き意見交換をしている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点											
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	前年度に災害や新型コロナウイルス感染拡大の影響により会議の中止や延期が生じたものの、概ねスケジュールどおりに進捗し、2か年の策定作業の後、令和3年3月に総合計画を策定できた。										
	企画政策課での評価とその理由											
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	総合計画を策定できたことは評価する。今後は計画に基づき事業を推進できるよう、各課に働きかけるとともに、達成状況の評価体制の確立を図るものとする。										
政策調整会議での評価とその理由												
(この欄は斜線が入ります)												
庁議における方針												
(この欄は斜線が入ります)												
ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定						
	令和2年度にて事業終了					—						
	令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール						
—					—							

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	03	02	納税コールセンター業務

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	02	02	05	徴収事務運営費

実施計画整理番号	
605030201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
PLAN (計画)	歳入の根幹を成す市税等の徴収率向上及び累積滞納を未然に防止する。 「納税コールセンター」を設置し、現年分の固定資産税、軽自動車税、市県民税(特別徴収含む)、国民健康保険税において督促状を発送しても納付の確認が出来ていない者に対し、電話連絡や文書により早期納付を促す。
	令和2年度の具体的な目標 市税等の徴収率向上に向けて、引き続き電話による納付勧奨及び文書連絡を行う。
	令和2年度スケジュール 令和2年4月から、継続して納税コールセンターを実施する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	5,134	4,369	6,098	5,917	5,201	6,152	5,427	5,426
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	5,134	4,369	6,098	5,917	5,201	6,152	5,427

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	納税コールセンター業務委託	6,152	5,427	5,426	成果を得られており、今後も継続していく。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		6,152	5,427	5,426	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
・納付の確認が取れない者に対し、電話による納付の勧奨 ・電話にて連絡の取れない者に対して、文書による納付の勧奨	

DO (実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	03	02	納税コールセンター業務

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	02	02	05	徴収事務運営費

整理番号
605030201

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 電話による納付勧奨件数 8,000件(平日7,496件、休日504件) 文書送付件数 1,661件 		市税等の徴収率の向上 ・現年度 市税93.71%、国保税93.49% ・滞納繰越分 市税24.46%、国保税24.75%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 電話による納付勧奨を民間事業者に委託することにより、職員が財産調査や差押に専念し、徴収率の向上に繋がる。		A:有効である 電話による納付勧奨を民間事業者に委託することにより、職員が財産調査や差押に専念し、徴収率の向上に繋がる。		A:効率的である 電話による納付勧奨を民間事業者に委託することにより、職員が財産調査や差押に専念し、徴収率の向上に繋がる。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	C:実現の余地がない 個人情報を取り扱うため。		C:実現の余地がない 個人情報を取り扱うため。		C:実現の余地がない 個人情報を取り扱うため。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		新型コロナウイルス感染症の影響により、徴収猶予を受けた税があり、徴収率は前年度と比較し下がってしまったが、仮に猶予が無かったと仮定した場合、徴収率は現年度の市税が99.01%、滞納繰越分との合計が96.03%、現年度の国保税が93.49%、滞納繰越分との合計が78.38%と前年を超える徴収率となっていたことから、特に現年度の徴収率の向上に大きな効果あり、十分な成果を挙げた。			
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		電話による納付勧奨を民間事業者に委託することにより、職員が財産調査や差押に専念し、徴収率の向上に繋がっている。			
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						
ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> 電話による納付勧奨件数 文書送付件数 		市税等の徴収率向上			
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール				
市税等の徴収率向上に向けて、引き続き電話による納付勧奨及び文書連絡を行う。		令和3年4月から、引き続き納税コールセンターを実施する。				

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	04	02	カーボンマネジメント強化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	08	01	庁舎維持管理費

実施計画整理番号	
605040201	
総合戦略 整理番号	0

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	<p>建設以来22年以上経過し老朽化している庁舎の長寿命化計画を策定する。また、令和2年度の事業として照明設備を省エネ機器に改修することで、省エネ化によるランニングコストの軽減と温室効果ガスの排出抑制を図るとともに、停電時における防災拠点としての機能を強化するために太陽光発電設備と蓄電池設備を整備する。</p>	<p>平成31年度に長寿命化計画策定、基本設計及び実施設計を実施。 令和2年度に工事を実施。 (環境省補助事業：二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金を活用。同事業は令和2年度までが期限。)</p>
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール	
<ul style="list-style-type: none"> ・補助採択を受けること。 ・交付決定を受けること。 ・確実に契約を締結し、工期内で適切に工事を完了させる。 ・工事作業の庁舎業務への影響を最低限に抑える。 ・補助金の規程に沿って事業を完了し、補助金の交付を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・応募申請(5月下旬) ・補助採択(6月下旬) ・交付申請(7月下旬) ・交付決定(8月下旬) ・工事契約(9月上旬) ・工事実施(9月上旬～1月中旬) ・工事費支払(1月下旬) ・補助事業完了実績報告(2月上旬) ・補助金交付(3月下旬) 	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	0	0	0	0	0	0	14,850	19,450	10,320	0	127,294	125,754	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	74,204	73,298
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37,100	36,600
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	14,850	19,450	10,320	0	15,990	15,856

D O (実 施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	設計業務	0	10,670	9,130	予定どおり達成
	②	工事	0	113,324	113,324	予定どおり達成
	③	工事監理	0	3,300	3,300	予定どおり達成
	④					
	⑤					
	⑥					
	⑦					
	⑧					
	⑨					
	⑩					
	事業費計		0	127,294	125,754	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・補助採択、交付決定を受け、工期内で適切に工事を完了した。
- ・工事作業時の庁舎業務への影響を最低限に抑えた。
- ・補助金規定に沿って事業を完了し、補助金の交付を受けた。

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605040201
6	05	04	02	カーボンマネジメント強化事業	2	01	08	01	庁舎維持管理費	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	・省エネ機器照明への変更本数:573台 ・太陽光発電設備新設:72枚(計21.1kw) ・蓄電池システム新設:2台(計44.8kw) 以上の設備を設置した。					・当初は年間CO2排出削減量69tを成果指標としていたが、成果指標を上回る年間CO2排出削減量83.84tを達成する見込みとなった。				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である	庁舎の省エネ化と防災機能強化のための設備を整備した。	A:有効である	補助事業を活用することで、財源を確保し目的を達成することができた。		A:効率的である	目的を達成するため、補助事業が財政面で有利である。			
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	その他	事業実施後の成果を市民等に情報発信する予定。	その他	補助申請期限等の限られた時間の中で、庁舎設備の設計内容に市民等の意見を取り入れ、生かすことは困難だった。		その他	補助申請期限等の限られた時間の中で、庁舎設備の設計内容に市民等と協働し推進することは困難だった。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	活動指標に掲げたとおりの設備を設置し、CO2排出量は当初の成果指標を上回る量を削減した。また、財源面で有利な環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用し、当該事業を実現することができた。								
	企画政策課での評価とその理由									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	活動指標である設備を設置し、CO2排出量の削減目標を上回っていることから、一定の成果を達成している。引き続き省エネ化と防災機能の維持に、努めていただきたい。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										
ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	令和2年度で事業完了のため設定、目標等なし					—				
	令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール				
—					—					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
6	05	05	03
茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
2	01	09	06
茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略			

実施計画整理番号	
605050303	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) H27年に策定した茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の対象年度がH31年度までであり、H32年度において効果測定をする必要がある。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) ・推進委員報償費及び食糧費 ・PDCAサイクルを適正に実現するためのKPI(重要業績評価指標)を測定するために、調査・アンケート等を実施する。
令和2年度の具体的な目標 各事業で設定した数値目標及びKPI(重要業績評価指標)についてPDCAサイクルに基づいて効果を検証した上で、必要に応じた見直しや新たな施策や事業の必要性など、より実効性を高め、目標の達成を目指していく。	令和2年度スケジュール R2.8～10 ・茂原市総合計画審議会において効果検証 R2.11 ・12月定例会議員全員協議会での効果検証

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	71	70	38	71	71	38	62	62	38	2,395	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	71	70	38	71	71	38	62	62	38	2,395	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市まち・ひと・しごと総合戦略等の効果検証	62	0	0	茂原市総合計画審議会において効果検証を行った。来年度は6ヶ月の計画期間全体の効果検証を行う。
②	効果検証のための調査	2,333	0	0	庁内担当課への調査により、効果検証を行った。来年度は6ヶ月の計画期間全体の効果検証を行う。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,395	0	0	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- 下記会議を開催し効果検証を行い、次期総合戦略の策定を行った。
 - ・第8回茂原市総合計画審議会(R2.9.29)
 - ・第9回茂原市総合計画審議会(R2.10.30)
 - ・総合計画特別委員会(R2.11.17)

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050303
6	05	05	03	茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業	2	01	09	06	茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	茂原市総合計画審議会において効果検証を行い、次期総合戦略の策定を行った。総合計画特別委員会において次期総合戦略の説明を行った。					目標を達成した事業数13事業 PDCAサイクルに基づいて各事業の効果検証を施し見直しを行った、施策・事業数:1事業(地域資源を活用したシティプロモーションと移住定住促進プロジェクト)、まち・ひと・しごと創生本部HPにて公表。				
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	事業実施に伴う効果検証について、国へ報告する必要があるため、自治体を実施すべき事業である。		A:有効である	PDCAサイクルに基づいて各事業の効果検証を実施し、施策・事業の見直しを行うため、有効である。		A:効率的である	推進委員の報償費及び食料費のため、将来的に大幅な費用の増減はない。		
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	会議の公表及び市公式ウェブサイトを通してインターネット上で評価結果を公表している。		A:実現している	総合戦略推進会議の中で市民の意見等を聴取している。		A:実現している	外部有識者で構成する検証組織は、産業・行政・教育・金融・労働・市民で構成している。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各事業に対する効果検証を行い、その評価に基づいて必要な見直し等を行っている。								
企画政策課での評価とその理由										
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	PDCAサイクルに基づき、事業評価の効果検証を実施し、見直しを行っているため当初の目標を達成していると認められる。今後も事業の必要性等を勘案し、目標の達成を目指すものとする。□									
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	茂原市総合計画審議会、茂原市議会全員協議会による効果検証					目標を達成した事業数。 PDCAサイクルに基づいて各事業の効果検証を施し、施策・事業の見直しを行う。				
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール					
茂原市総合計画審議会、茂原市議会全員協議会による効果検証					各事業で設定した数値目標及びKPI(重要業績評価指標)についてPDCAサイクルに基づいて効果を検証した上で、必要に応じた見直しや新たな施策や事業の必要性など、より実効性を高め、目標の達成を目指していく。					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	03	協働のまちづくり推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	04	協働のまちづくり推進事業

実施計画整理番号	
605050304	
総合戦略整理番号	41101

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 市民や市民活動団体が地域の課題を主体的に解決しようとする機運の醸成を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 市内でまちづくりを行う団体を市民活動団体として認定し、支援を行う。また、地域まちづくり協議会に対して支援を行うとともに、市民活動団体の自発的な課題解決を促進するため、協働事業提案制度を運用する。
令和2年度の具体的な目標 ・市民活動団体の認定数 延べ30団体 ・地域まちづくり協議会の認定数 延べ3団体 ・協働提案事業の実施回数 1回	令和2年度スケジュール ・市民活動団体補助金交付団体の募集(4月) ・協働提案事業の募集(7月) ・協働提案事業の審査・採択(8月) ・協働提案事業サポート講座の開催(10月) ・協働のまちづくり推進懇話会の開催(9月・3月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	1,055	1,055	945	988	1,002	894	1,362	1,362	1,196	1,263	1,302	972	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	1	1	48	0	3	62
	一般財源	千円	1,055	1,055	945	988	1,002	894	1,361	1,361	1,148	1,263	1,299	910

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	協働事業提案サポート講座の開催	131	67	66	隔年で開催しており、令和2年度に1回実施した。今後も継続する。
②	協働のまちづくり推進懇話会・協働のまちづくり推進庁内委員会の運営	116	116	94	協働のまちづくり推進懇話会を設置し、会議を2回開催した。今後も継続する。
③	協働事業提案制度(団体提案型・行政提案型)の運営	200	100	100	1団体から提案を受け、1事業を採択して実施した。今後も継続する。
④	市民活動支援制度の運営	300	300	214	5団体に対して市民活動団体補助金を交付した。今後も継続する。
⑤	地域まちづくり協議会の設立・運営支援	300	500	300	3地区の地域まちづくり協議会に補助金を交付した。今後も継続する。
⑥	市民活動支援センターの設置・運営	216	219	198	市民活動支援センターの備品等を整備し運用した。今後も継続する。
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		1,263	1,302	972	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・市民活動団体の認定 27団体(令和2年度末現在)
- ・市民活動団体交流会 11回(うち2回は中止)
- ・地域まちづくり協議会の認定 3団体(令和2年度末現在)
- ・協働提案サポート講座 令和2年12月8日
- ・協働提案事業 1事業を採択

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050304
6	05	05	03	協働のまちづくり推進事業	2	01	13	04	協働のまちづくり推進事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体交流会の開催回数 11回(うち2回は中止) 市民活動フェスタ2021オンライン 1回 協働提案サポート講座の開催回数 1回 					<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体の認定数 27団体 地域まちづくり協議会の認定数 3団体 協働提案事業の実施回数 1事業 				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である		A:有効である			A:効率的である			市民活動団体及び地域まちづくり協議会の認定及び支援、協働提案事業の適切な執行に努めた。継続していく必要がある。	
	理由: まちづくり条例に基づく協働のまちづくりの推進は、市が関与すべき事業である。		理由: より良いまちづくりのためには、協働のまちづくりの推進が必要である。							
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している		A:実現している			A:実現している			市民活動団体及び地域まちづくり協議会と目的を共有し、適切に役割を分担している。	
理由: 市民活動団体及び地域まちづくり協議会と情報を共有しながら、施策を推進している。		理由: 市民活動団体及び地域まちづくり協議会の参加を得ながら、施策を推進している。								
所管による評価とその理由、課題・問題点										
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		市民活動団体及び地域まちづくり協議会の認定及び支援、協働提案事業の適切な執行に努めた。感染症対策のため、予定していた事業の一部中止や、オンラインを併用した開催方法を取り入れた。今後も感染症予防と市民活動の両立が課題である。								
企画政策課での評価とその理由										
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		コロナ禍で、事業の中止などがあったがオンライン開催を併用するなど事業展開に工夫があった。今後は、市民活動団体の活動報告等を共有することで、相互の活動を推進していくよう努めること。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体交流会の開催回数 協働提案事業サポート講座・地域まちづくり協議会設立支援講座の開催回数(隔年開催) 					<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体の認定数 地域まちづくり協議会の認定数 				
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体の認定数 延べ30団体(令和7年度目標値40団体) 地域まちづくり協議会の認定数 延べ3団体 協働提案事業の実施回数 1回 					<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体補助金交付団体の募集(5月) 地域まちづくり協議会設立支援講座の開催(11月) 協働のまちづくり推進懇話会の開催(3月) 					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	04	マスコットキャラクターPR事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	03	02	マスコットキャラクターPR事業

実施計画整理番号	
605050401	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
マスコットキャラクター「モバリん」を活用し、本市のPR活動を実施することで、地域住民の郷土愛の醸成と域外での知名度を向上させ、地域振興を図る。	・キャラクターグッズの販売により子どもたちへの浸透を図る。 ・本市の認知向上のためイベントに参加する。 ・着ぐるみの利用促進。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
・「モバリん会議」で考案した新デザインをグッズ等に活用したモバリんの更なる認知度向上や売り上げの増進。	・市職員で構成する団体の会議を定期的に行う。 ・新モバリんデザイン考案。 ・新モバリんグッズ作製、販売。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	939	939	935	939	534	416	502	502	443	504	523	299	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	689	689	0	689	534	255	248	248	210	248	248	74
	一般財源	千円	250	250	935	250	0	161	254	254	233	256	275	225

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	マスコットキャラクターのプロモーション	294	297	292	新たなモバリんデザインを作製し、幅広く活用した。今後も継続していく。
②	イベント等への参加によるPR活動	174	190	0	実績なし。
③	市民・企業活動の場での着ぐるみの利用促進	36	36	7	市民や企業等に貸し出しを行っている。今後も継続していく。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		504	523	299	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・マスコットキャラクターPRのためのノベルティグッズを作製した。
- ・新たなモバリんデザインを作製し、幅広く活用した。

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050401
6	05	05	04	マスコットキャラクターPR事業	6	01	03	02	マスコットキャラクターPR事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況					
	・新型コロナウイルス感染症の影響により様々なイベントが中止となり、PR活動が行えなかった。					・グッズについて、22,066円を売り上げた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント出演は無かった。					
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由					
	A:妥当である 市のマスコットキャラクターのメディア等への露出やグッズ販売は、シティープロモーションにつながり、妥当である。		B:やや有効である 市の魅力発信のためには有効なツールではあるが、多くの自治体でも実施されているため、活用方法を検討する必要がある。			A:効率的である キャラクターデザインが市民や企業に幅広く利用されており、効率的である。					
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由					
	A:実現している 市公式ウェブサイトや市の発行物等に幅広く活用されている。		A:実現している 市民や企業に利用を促すとともに、職員やモバリんグッズ取扱店からの意見を取り入れている。			A:実現している 市民や企業に利用を促すとともに、職員やモバリんグッズ取扱店からの意見を取り入れている。					
	所管による評価とその理由、課題・問題点										
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		新型コロナウイルス感染症の影響がなければ、着ぐるみの貸し出しは順調に推移している。キャラクターグッズについては多くの自治体が同様に販売を行っているため、他自治体にはない商品の開発、差別化を図る必要がある。								
	企画政策課での評価とその理由										
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		新型コロナウイルス感染症の影響により、例年どおりの事業展開は困難であったが、本市の認知度向上に一定の効果はあると判断できる。今後は商品の開発、差別化を研究するとともに、ウィズコロナを意識した活動手法も研究していただきたい。								
政策調整会議での評価とその理由											
(この欄は斜線が入ります)											
庁議における方針											
(この欄は斜線が入ります)											
A C T (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定					
	・貸し出し回数。 ・各種イベントへの参加回数。					・グッズの売り上げ。 ・メディアへの露出回数。					
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール						
・新モバリんデザイン考案。 ・モバリんグッズ作製、販売。					・モバリんの更なる認知度向上や売り上げの増進。						

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	04	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	05	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費

実施計画整理番号	
605050402	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
<p>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</p> <p>PLAN (計画)</p> <p>本市ふるさと納税制度の推進、及び記念品の提供を通じた本市産品等の県内外への魅力発信並びに地域産業の振興を図る。</p>	<p>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</p> <p>記念品の開発・発送にかかる業務を専門業者に委託し、記念品の充実及びインターネット等により情報発信を促進する。 また、寄附者の利便性向上のため、「ふるさとチョイス」からの寄附申込受付及びクレジットカード決済利用を継続する。</p>
<p>令和2年度の具体的な目標</p> <p>年間を通じて、 ・「ふるさとチョイス」への掲載、寄附の受付 ・記念品の拡充及び寄附金の増加</p>	<p>令和2年度スケジュール</p> <p>・記念品を拡充する ・事業者説明会の開催 ・「ふるさとチョイス」の利用により、本市ふるさと納税の周知や寄附者の利便性の向上を図るため、寄附方法の多様化等を検討する。</p>

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	22,522	22,522	13,150	22,565	22,950	22,281	17,572	20,864	20,704	17,573	24,117	23,215
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	22,522	22,522	13,150	22,565	22,950	22,281	17,572	20,864	20,704	17,573	24,117

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	記念品の拡充	0	0	0	7事業者21品目の記念品を追加。今後も拡充に努める。
②	本市ふるさと納税記念品の開発及び発送等に係る事務の一部委託	16,900	20,211	19,362	郵便局に一部委託を実施し事務の効率化を図った。引き続き、実施する。
③	「ふるさとチョイス」からの寄附申込受付及びクレジットカード決済の利用	673	3,906	3,853	決済方法を拡充し利用者の利便性向上を図った。今後も利便性向上のため、調査及び導入に努める。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		17,573	24,117	23,215	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・令和2年9月24日付で総務大臣より、ふるさと納税の対象となる地方団体として指定を受け(対象期間:令和2年10月1日～令和3年9月30日)、継続してふるさと納税制度に参加できることとなった。
- ・寄附者の利便性向上のため、決済方法に「メルペイ」と「楽天ペイ」を追加した。
- ・記念品の開発及び拡充に努め、7事業者、21品目を新たに追加した。

PLAN (計画)

DO (実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050402
6	05	05	04	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進事業	2	01	09	05	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況				令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・新たに21品目の記念品を追加した。				令和2年度の寄附件数(記念品対象分):1,847件…① ①のうち「ふるさとチョイス」を利用した件数:1,816件…② ②のうちクレジットカード決済を利用した件数:1,361件 ②のうちマルチペイメントを利用した件数:455件 令和2年度寄附金額(記念品対象分):54,092,000円			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	ふるさと納税制度は自治体のみが参加できる制度であり、歳入の確保により健全な財政運営に寄与することから、市の事業として妥当である。	A:有効である	記念品の贈呈はふるさと納税の推進、また地場産業の振興等の副次的効果もあり、有効である。	B:やや効率的である	発注等の事務の外部委託が一部の返礼品のみに留まっているため、全てを委託することや、データ管理システムの導入を検討する余地はある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	市公式ウェブサイト等においてふるさと納税制度について周知している他、ポータルサイトを利用し返礼品等を掲載している。	A:実現している	寄附金の使途を選択できることにより、寄附者に参加の機会を提供している。	A:実現している	記念品を市内業者から調達している。また、提供事業者もCSRや市の発展への寄与の意識を持って臨む事業者も多い。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	寄附件数、寄附金額ともに昨年度より増加している(寄附件数:昨年度比+242人、寄附金額:+2,782,000円)。全国的なふるさと納税の市場自体が拡大しているのに対し、寄附額の増加率が小さいため、魅力的な記念品の発掘による戦略的な拡充や、周知方法の工夫等により寄附額の維持・増加を図る必要がある。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	記念品の拡充や、決済方法拡充等による利便性向上の取り組みにより、昨年度を上回って、ふるさと納税全体の寄附額は増加している。引き続き、寄附者及び寄附金の増加に繋がるよう、魅力ある返礼品の発掘に取組みたい。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定				令和3年度成果指標(アウトカム)の設定			
	・魅力的な新規記念品の拡充 5品目				・令和3年度の寄附件数(記念品対象分):2,000件 ・令和3年度の寄附金額(記念品対象分):60,000,000円			
令和3年度における具体的な目標				令和3年度における事務事業スケジュール				
地場産品の生産・加工を行う事業者の情報収集およびアプローチを行うことで、返礼品提供事業者の増加や返礼品の充実に努める。 ふるさと納税制度の推進により、寄附額の増加に努め、財源の確保ひいては健全な財政運営につなげる。				・随時、記念品を拡充する。 ・「ふるさとチョイス」を効果的に利用する。 ・本市ふるさと納税の周知方法や、寄附者の利便性を向上させる取り組みを検討する。				

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	04	シティプロモーション事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	06	茂原市総合戦略推進事業

実施計画整理番号	
605050403	
総合戦略整理番号	32301

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	人口減少や高齢化が急速に進み、ひとや地域のつながりが希薄化し、市の活力が大きく損なわれることが懸念される。そこで、選ばれるまちとしての魅力を戦略的にアピールをし、市の認知度を高め、交流人口・定住人口の増加を図る。	シティプロモーションの基本方針について市民等と検討し、地域の持つ資源を再認識し、統一感や一体感のあるイメージや魅力を明確にした共感できるコンセプトによる情報発信力を強化する。 また、市長が「茂原市の顔」としてトップセールスを担い、あらゆる機会を捉えてシティプロモーションを実行する。
	令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
・千葉もばらロケーションサービスを通じたロケツーリズムの推進によるシティプロモーションの浸透	・SNSを活用した情報発信 ・千葉もばらロケーションサービスの開催 ・映画やテレビドラマ等の撮影支援 ・ロケツーリズムに関する啓発活動	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	5,498	5,490	5,476	3,085	14,021	13,946	12,806	12,806	12,761	10,037	10,135	10,062	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	4,500	4,500	6,350	6,350	6,315	5,000	4,000	5,000
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	2,000	2,000	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,498	5,490	5,476	3,085	7,521	7,446	6,456	6,456	6,446	5,037	6,135	5,062

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	地域資源を活用したシティプロモーションの推進	10,037	10,135	10,062	ロケツーリズムを通じ、成果を上げてきた。引き続き本市の魅力の効果的な発信方法を検討する。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		10,037	10,135	10,062	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を簡条書きで具体的に記入)	
<ul style="list-style-type: none"> ・千葉もばらロケーションサービス(総会、シンポジウム、セミナー、ロケツーリズム協議、ロケツーリズムアワード、もばロケ☆ネギらい隊会議) ・ロケ地情報誌「ロケーションジャパン」広告掲載 ・ロケ地マップ作成 5,000部 ・撮影支援活動(問い合わせ323件、決定45件) ・白ツツジ天然花酵母星型パンの開発 	

DO (実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050403
6	05	05	04	シティプロモーション事業	2	01	09	06	茂原市総合戦略推進事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況				令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 千葉もばらロケーションサービス総会、シンポジウムの開催 ロケ地マップ作成 5,000部 撮影支援活動(問い合わせ260件、決定31件) 				<ul style="list-style-type: none"> 情報発信によるアクションを起こした人の数 千葉もばらロケーションサービス公式facebookのフォロワー数422人 いいね758件、リーチ数(記事を見た人)28,990件 制作者等への活動結果 撮影支援活動(問い合わせ260件、決定31件) 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である 総合戦略における事業であり、地域の活性化のためには、まちの魅力を活かし、発信するシティプロモーション事業を進める必要がある。		A:有効である ブランドを確立し、地域内情報の流通を促進し、市民の参画や推奨、域内消費の喚起による賑わい創出・誇りの醸成を目指すため。		A:効率的である 基本方針の各施策の成果指標を総合戦略のKPIと関連づけて設定し、効率的に事業が進められるため。			
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している ロケ地マップやPR動画、またロケツーリズムの推進により、WEBやマスコミなど、茂原市の情報を広範囲で共有する機会が増えた。		A:実現している 撮影支援を通じた市民参加、千葉もばらロケーションサービスの下部組織であるもばロケ☆ネギらい隊の設立により多くの意見聴取の機会をつかった。		A:実現している 市民を巻き込んだ協働の機会をつかったことで、内部における意見交流や対外的なPRもすることができた。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		市シティプロモーション基本方針に基づき、千葉もばらロケーションサービスの活動である映画やドラマ等の撮影支援を通じて、市民を巻き込んだ体制を推進することで、市民自らが動く機会をつかった。また、情報発信のためにパンフレットやPR動画を作成することで、全国に向けて茂原市を発信した。今後も引き続き、ロケツーリズムを通じて、茂原市の地元愛の醸成や情報発信に努め、この取り組みを更に推進する。						
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		計画どおりに取組を進めており、茂原市の魅力をアピールし認知度の向上に一定の効果があったと認められる。引き続き、市民と一丸となった事業展開や積極的な情報発信を図ることで、市民の郷土愛の醸成を図るとともに、より一層の本市の認知度向上を図りひいては移住・定住の促進につながるよう努めていただきたい。□						
政策調整会議での評価とその理由								
(Blank area for policy adjustment meeting evaluation)								
庁議における方針								
(Blank area for council policy)								

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定				令和3年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> 映画やテレビドラマ等の撮影支援 千葉もばらロケーションサービスの推進 ご当地グルメの研究 SNSを利用した情報発信 				<ul style="list-style-type: none"> 映画やテレビドラマ等の撮影支援による市民意識の醸成(エキストラ、ロケ弁、ロケ地登録者数) 千葉もばらロケーションサービス公式facebookのフォロワー数、いいね数、リーチ数 			
令和3年度における具体的な目標				令和3年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> 千葉もばらロケーションサービスを通じたロケツーリズムの推進によるシティプロモーションの浸透 情報発信のキーパーソンの育成と情報発信 				<ul style="list-style-type: none"> SNSを活用した情報発信 千葉もばらロケーションサービスの開催 映画やテレビドラマ等の撮影支援 ロケツーリズムに関する啓発活動 				